

大学教員準備講座

Program for Preparing Future Faculty: Philosophy and Practice

大学教員準備講座は、大学教員をめざす大学院生、ポスドク、主に初期キャリア教員を対象として、
大学教員に求められる知識やスキルを身につけるための認定プログラムです。

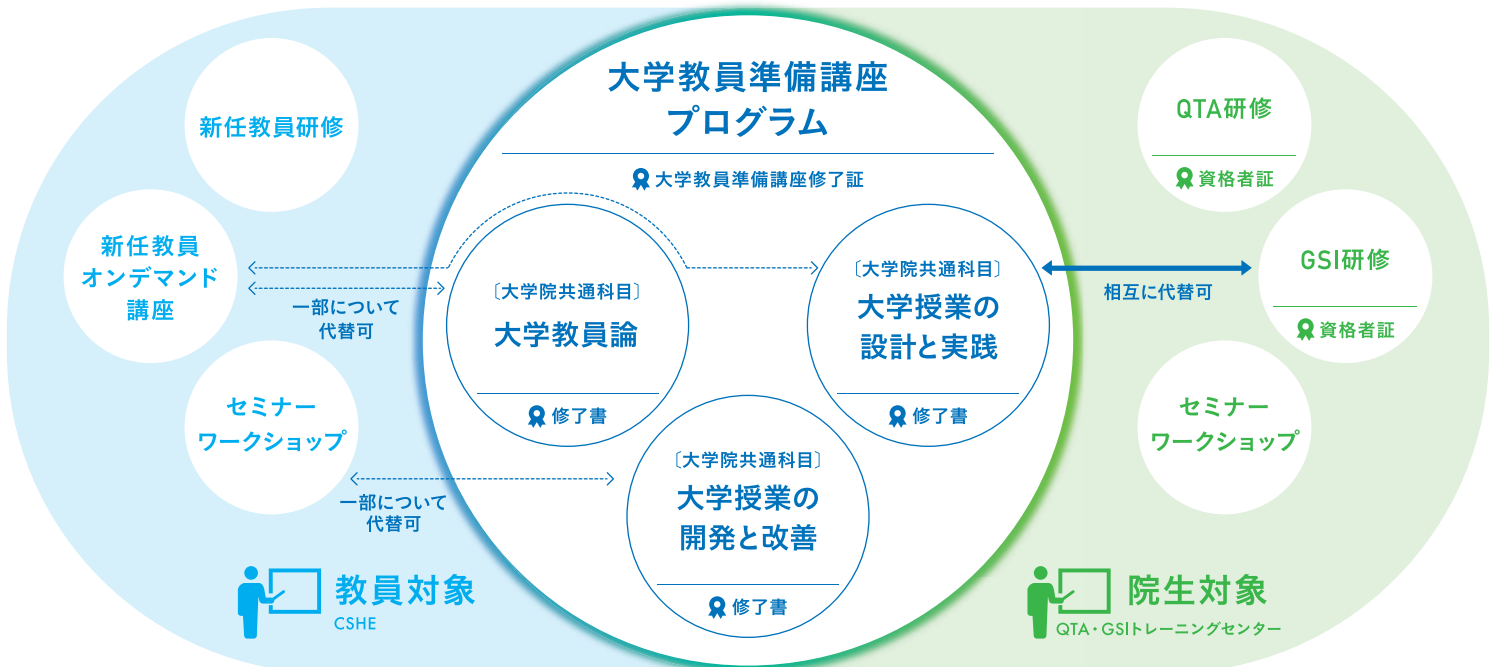


東海国立大学機構 アカデミック・セントラル QTA・GSIトレーニングセンター
名古屋大学高等教育研究センター(質保証を担う中核教職員能力開発拠点)

本プログラムは3つの大学院共通科目から構成されています。

各科目を修了するごとに修了証が授与されますが、

3つの科目すべてを修了すると、大学教員準備講座修了証が授与されます。



3つの科目はディスカッションやピアレビュー等の学生同士の学び合いの機会が多く含まれています。

また、これら3つの科目は一部の内容が互いに関連しています。

どの科目から履修を始めても構いませんが、「大学授業の開発と改善」を履修する前に「大学教員論」、「大学授業の設計と実践」を履修していることが望ましいです。

大学教員論

Preparing Future Faculty

大学教員としてのキャリアを考えるために必要な内容を学びます。大学教員の役割を知り、多様化する学生への教育や高度化する研究の推進など、大学教員の職務を多面的に検討する中で、大学教員として求められる知識や技能を習得することができます。オンデマンド動画を事前に視聴し、集中講座ではアクティブラーニング技法を体験し、模擬授業等を実践することができます。これらを通じて、受講生は大学教員職をより深く理解し、「大学で教える」ことを自ら考えるきっかけを得て、そのキャリアに必要な実践的なスキルを身に付けることを目指します。



大学授業の設計と実践

Course Design and College Teaching

大学での授業実施に必要な授業デザインと教育技法に関わる知識やスキルを身につけます。シラバスの作成、授業見学、模擬授業等の実践的な学習を通じて、授業実践への十分な準備を行います。本授業では、授業デザインの実践的な力を身につけるために、受講者はオンライン授業やアクティブラーニングなど多様な授業手法を実際に体験します。そのため、シラバス案の作成や授業デザインシートの作成などの課外学習を実施することが求められます。



大学授業の開発と改善

Enhancing College Teaching and Learning

大学で授業をする場合に、自ら継続的に授業を向上させるための知識やスキルを身につけます。授業実践や教授法、評価法、専門分野の教材開発などから授業改善に資するテーマを選び、研究的なアプローチによる改善を試みます。受講生は自身が立てた計画に沿って、模擬授業の実施、授業参観、教員へのインタビュー、学生への調査等の活動を実際に行います。大学授業を常に向上させるには、他者からのフィードバックが大切です。そこで、建設的なコミュニケーションを取りながらフィードバックを受け、これを反映させて授業を向上させる姿勢を学びます。

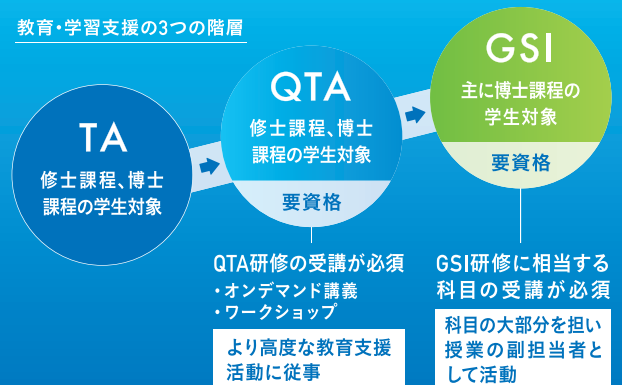


QTA・GSIトレーニングセンター

当センターではQTA(Qualified Teaching Assistant)やGSI(Graduate Student Instructor)の資格認定のための研修を行っています(右図)。QTAは授業内外の学習支援のほか一部の授業実施を、GSIは成績評価を除いて授業の計画から実施まで担当します。両者とも担当教員と連携のもと、必要な教育・学習支援について自ら考え行動する積極性が求められます。さらに、QTAやGSIをはじめ広く大学院生を対象に、その教育力向上のための企画やコンテンツも提供しています。

詳細は下記のQTA・GSIトレーニングセンターのウェブサイトのリンクをご覧ください。

教育・学習支援の3つの階層



お問い合わせ

» QTA・GSIトレーニングセンター

東海国立大学機構 名古屋大学 東山キャンパス 人文共用館 304号室 (QTA・GSIトレーニングセンター事務局)
住所: 名古屋市千種区不老町 TEL: 052-559-9678 お問い合わせ: <https://forms.office.com/r/JpR5dnZHUH>

» 高等教育研究センター

東海国立大学機構 名古屋大学 東山キャンパス 文系総合館 5F (高等教育研究センター)
住所: 名古屋市千種区不老町 TEL: 052-789-5696 お問い合わせ: info@cshe.nagoya-u.ac.jp

web QR

